

# 金融庁貸金業制度等懇談会レジュメ

2005. 4. 27 弁護士 宇都宮 健児

## 1. 自己破産申立の現状

(1) 2004年の個人の自己破産申立件数は21万1402件。

依然として高水準の自己破産申立が続いている。

(2) 破産者の実態

① 破産原因

② 年代構成

③ 手取月収

④ 職業

⑤ 家族構成

⑥ 住居形態

⑦ 負債額

⑧ 債権者数

(3) 「生活苦型」「不況型」の自己破産が多くなっている。

## 2. 多重債務者の実態

150万人～200万人の多重債務者が存在するといわれている。

(1) 自転車操業による借金の雪だるま式増加

(2) 自殺，夜逃げ，ホームレス，犯罪の増加

(3) 紹介屋，買取屋，整理屋，提携弁護士・提携司法書士による二次被害も発生している。

(4) クレサラ業者の高金利，過剰融資，苛酷な取立がクレサラ被害・多重債務被害の原因となっている。

① 高金利

② 過剰融資

③ 苛酷な取立

### 3. ヤミ金融の現状

(1) ヤミ金融とは

(2) ヤミ金融のターゲット

(3) ヤミ金融の種類と勧誘の手口

(4) ヤミ金融の暴力的・脅迫的取立て

(5) ヤミ金融激増の背景

(6) ヤミ金融対策法の制定（2003. 7. 25）と山口組五菱会系  
ヤミ金融グループの摘発

・ヤミ金融は暴力団の資金源となっている。

・「ヤミ金の帝王」に対する被害者の集団損害賠償請求訴訟の提起

(7) ヤミ金融をめぐる最近の情勢

- ① ヤミ金融に関する相談はかなり減少してきている。しかしながら、ヤミ金融はまだ根絶はされていない。
  
- ② ヤミ金融業者の一部は振り込め詐欺に移行している。